

令和7年 **1 1** 月の大阪**森林**便り

目次

1 1月の木の話 木造軸組み工法の特徴

- (1)  国産合板在庫 1.7%減 9月末 首都圏で出荷持ち直し
- (2)  北米産木材が下落 10～12月 4%安 9四半期ぶり
- (3)  国内合板在庫 4.3%増 8月末、住宅着工数振るわず



1 1月の木の話 木造軸組み工法の特徴

*木造軸組工法は日本の伝統的な工法ですが、明治期から西洋の影響が入り始め、昭和初期には「和風木造」のほか、「洋風木造」と呼ばれる住宅様式が登場しています。

*木造軸組工法に用いられる柱材や横架材などには接合部が設けられます。

*小屋束と小屋梁をつなぐかすがいや、小屋組みを補強する火打ち金物など、金物による補強が広く行われています。

*柱材や横架材などの躯体に未乾燥材を使用すると、木材の収縮に伴う狂い、割れ、すきま、継ぎ目の段差や、釘やネジの保持力の低下など、問題が生じやすくなります。

*着工から竣工まで3～4か月といわれる短工期で建築する場合は、躯体を組み上げてからの木材の狂いを含むゆがみの調整が困難であるとされ、狂いの少ない乾燥木材を躯体に用いることが望ましいとされています。

(木材利用システム研究会 木力検定委員会 木力検定 木を学ぶ 100問より抜粋引用)

(1) **国産合板在庫 1.7%減 9月末**

首都圏で出荷持ち直し

*国産針葉樹合板の9月末の在庫量は前月比1.7%減の193,790M3。減少は5カ月ぶり。

*出荷量は前月比14.9%増の212,727M3。

*9月の生産量は前月比12.4%減の210,627M3。

*合板メーカーは出荷の持ち直しにあわせて生産量を増やしました。

(2025年10月28日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(2) 北米産木材が下落 10～12 月 4%安 9 四半期ぶり

建築需要に不安

- * 北米産木材の対日価格が 9 四半期ぶりに下落。
 - * 10～12 月期の価格は 7～9 月期に比べ約 4%安い水準。
 - * カナダ産 S P F 対日価格が前四半期比で下落するのは 2023 年 7～9 月期以来。
 - * 物価高の影響で米国内の住宅着工や販売が振るわず、米国内の木材在庫が積み上がっています
 - * 国内の 8 月のツーバイフォー住宅着工戸数は、前年同月比 6.3%減。
 - * 2 か月連続で減少。
 - * 国内では建設費の上昇や金利の先高観で住宅の取得負担が増える傾向。
 - * 注文住宅を中心に消費者の購買意欲が後退。
- (2025 年 10 月 29 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(3) 国内合板在庫 4.3%増 8 月末、住宅着工数振るわず

- * 国産針葉樹合板 8 月末の在庫量は、前月比 4.3%増の 197, 092M3。
 - * 4 か月連続で増加。
 - * 出荷が生産量を下回りました。
 - * 出荷量は前月比 11%減の 185, 123M3。
 - * 前年同月に比べても 2.4%少なくなりました。
 - * 7 月の木造住宅の新設着工数は、前年同月比 8.4%減。
 - * 8 月の生産量は前月比 11.7%減の 187, 334M3。
- (2025 年 9 月 27 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

